

放課後等デイサービス事業
マルクスコラについて



株式会社マルク
2018年5月

4. 放課後等デイサービス -事業の概要

○ 事業の概要

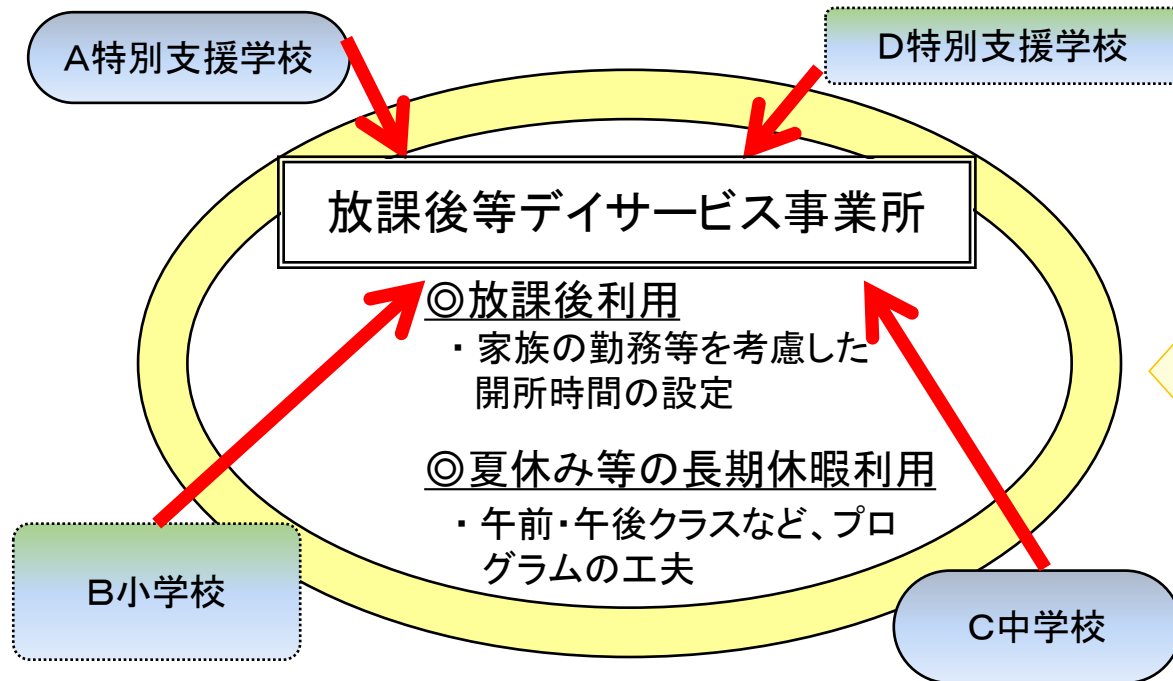
- ・ 学校通学中の障がい児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、**生活能力向上のための訓練等**を継続的に提供することにより、学校教育と相まって障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進。

○ 対象児童

- ⑤ 学校教育法に規定する学校(幼稚園、大学を除く)に就学している障がい児
- ※障がい児の定義は児童発達支援と同じ
(引き続き、放課後等デイサービスを受けなければその福祉を損なうおそれがあると認めるときは満20歳に達するまで利用することができる。)

○ 定員

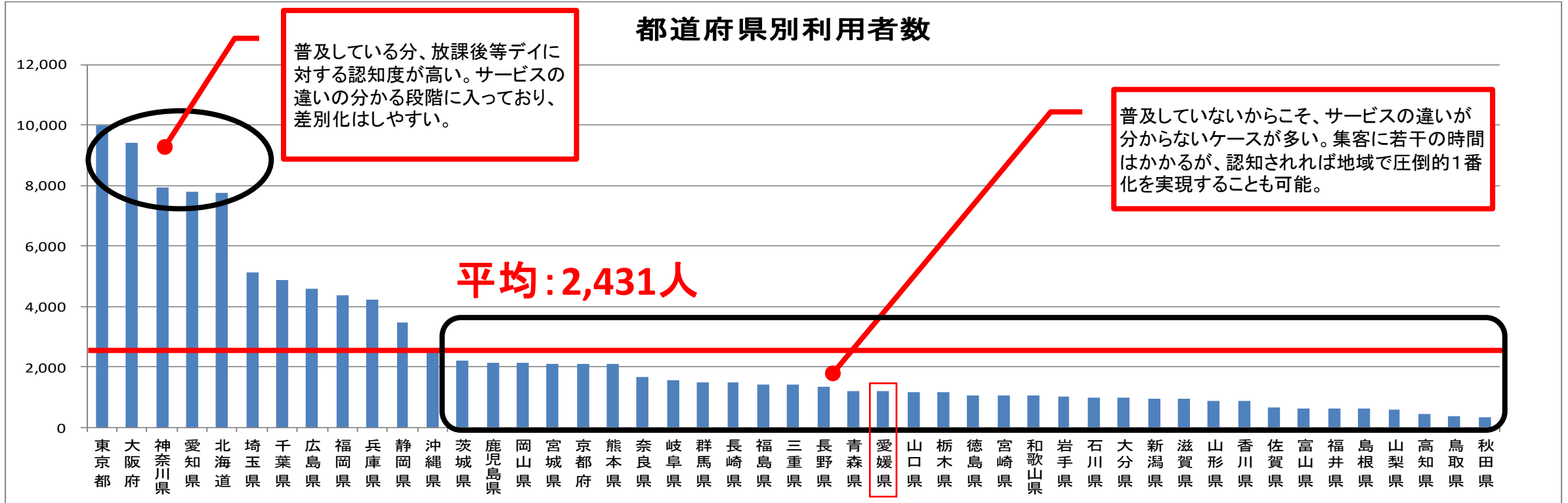
10人以上



○ 提供するサービス

- ⑤ 学校授業終了後又は休業日において、**生活能力の向上のために必要な訓練**、社会との交流の促進その他の便宜を供与
- ・ 多様なメニューを設け、本人の希望を踏まえた サービスを提供。
 - ① 自立した日常生活を営むために必要な訓練
 - ② 創作的活動、作業活動
 - ③ 地域交流の機会の提供
 - ④ 余暇の提供
- ・ 学校との連携・協働による支援
(本人が混乱しないよう学校と放課後等デイサービスのサービスの一貫性が必要)

4. 放課後等デイサービス -外部環境



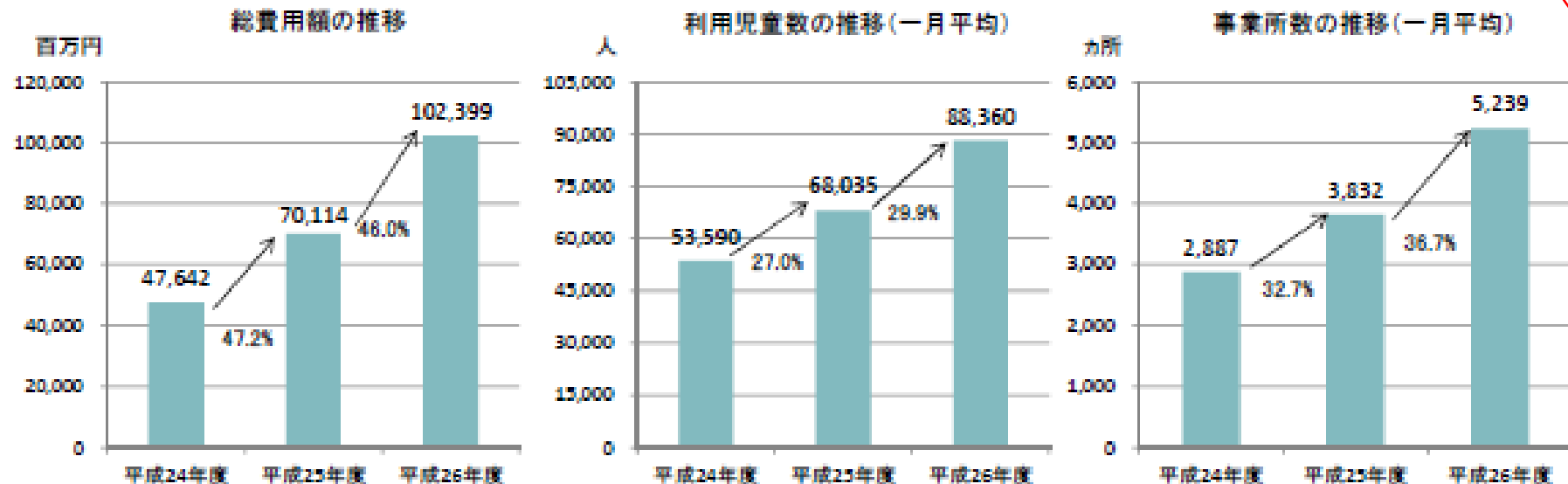
東京都	9,995	静岡県	3,468	群馬県	1,491	宮崎県	1,047	富山県	639
大阪府	9,417	沖縄県	2,538	長崎県	1,484	和歌山県	1,045	福井県	635
神奈川県	7,928	茨城県	2,203	福島県	1,415	岩手県	1,028	島根県	635
愛知県	7,795	鹿児島県	2,147	三重県	1,414	石川県	1,008	山梨県	583
北海道	7,751	岡山県	2,145	長野県	1,360	大分県	978	高知県	468
埼玉県	5,138	宮城県	2,119	青森県	1,224	新潟県	950	鳥取県	364
千葉県	4,886	京都府	2,097	愛媛県	1,220	滋賀県	937	秋田県	349
広島県	4,583	熊本県	2,094	山口県	1,178	山形県	879		
福岡県	4,369	奈良県	1,680	栃木県	1,165	香川県	867		
兵庫県	4,231	岐阜県	1,563	徳島県	1,075	佐賀県	677		

※出展:厚生労働省

4. 放課後等デイサービス -外部環境

【放課後等デイサービスの現状】

- 放課後等デイサービスの総費用額(平成26年度)は1,024億円で、障害児支援全体の59.7%を占める。
- 総費用額、利用児童数、事業所数のすべてにおいて、新制度が始まった平成24年4月以降、大幅な増加を続けている。



○実施主体別事業所数

※上段は平成24年4月、下段は平成27年3月

事業所数 (総数)	社会福祉法人 (社協以外)	社会福祉法人 (社協)	医療法人	民法法人 (社団・財団)	営利法人	非営利法人 (NPO)	農協
(2,540)	(744)	(67)	(41)	(39)	(624)	(801)	(0)
5,815	1,188	77	63	213	2,478	1,501	0

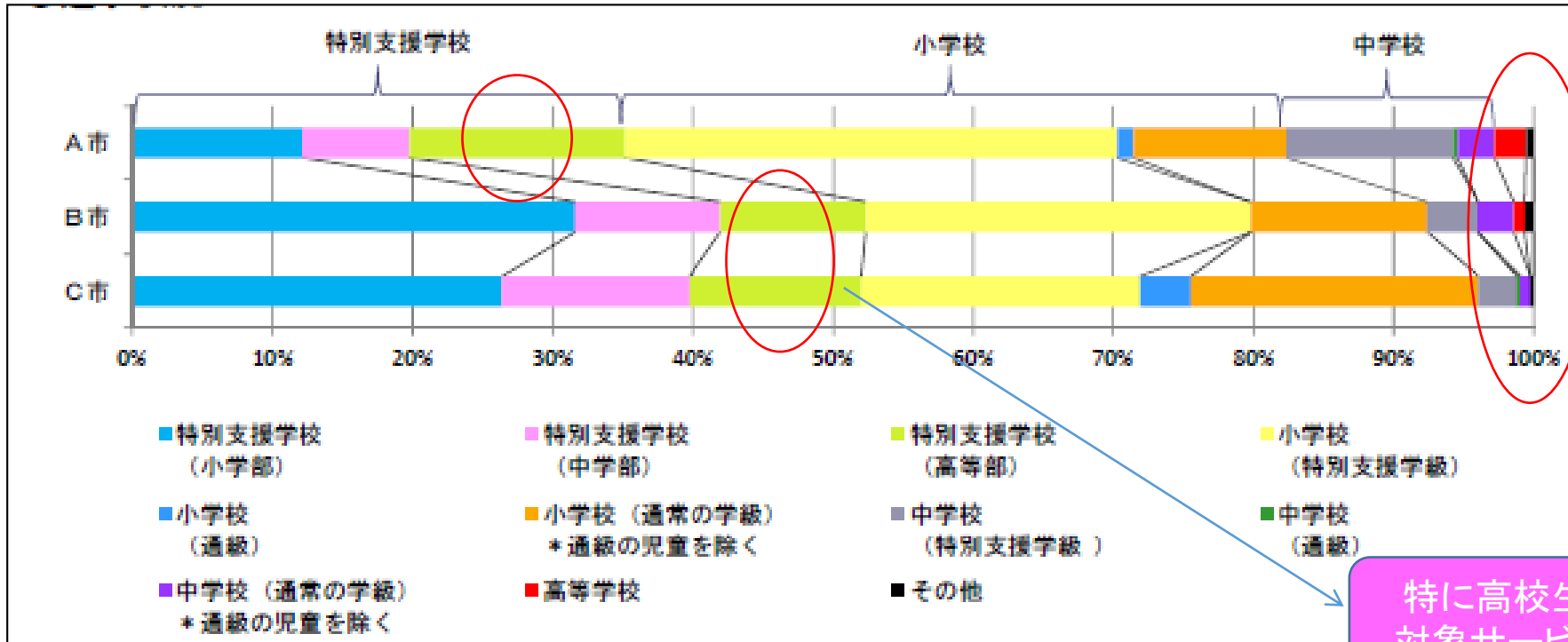
生協	その他法人	地方公共団体 (都道府県)	地方公共団体 (市町村)	地方公共団体 (広域連合・一部事務 組合等)	非法人	国立施設	その他
(3)	(39)	(5)	(154)	(5)	(3)	(4)	(11)
3	110	10	128	5	1	8	30

しかしながら、預かるだけで療育を提供できていない本質を外れた質の低い事業所の増加が問題に。今後必要とされるのは提供するサービスの内容と質となるのは間違いない。

※出展：国保連データ

4. 放課後等デイサービス -外部環境

政令指定都市における放課後等デイサービスへの利用状況



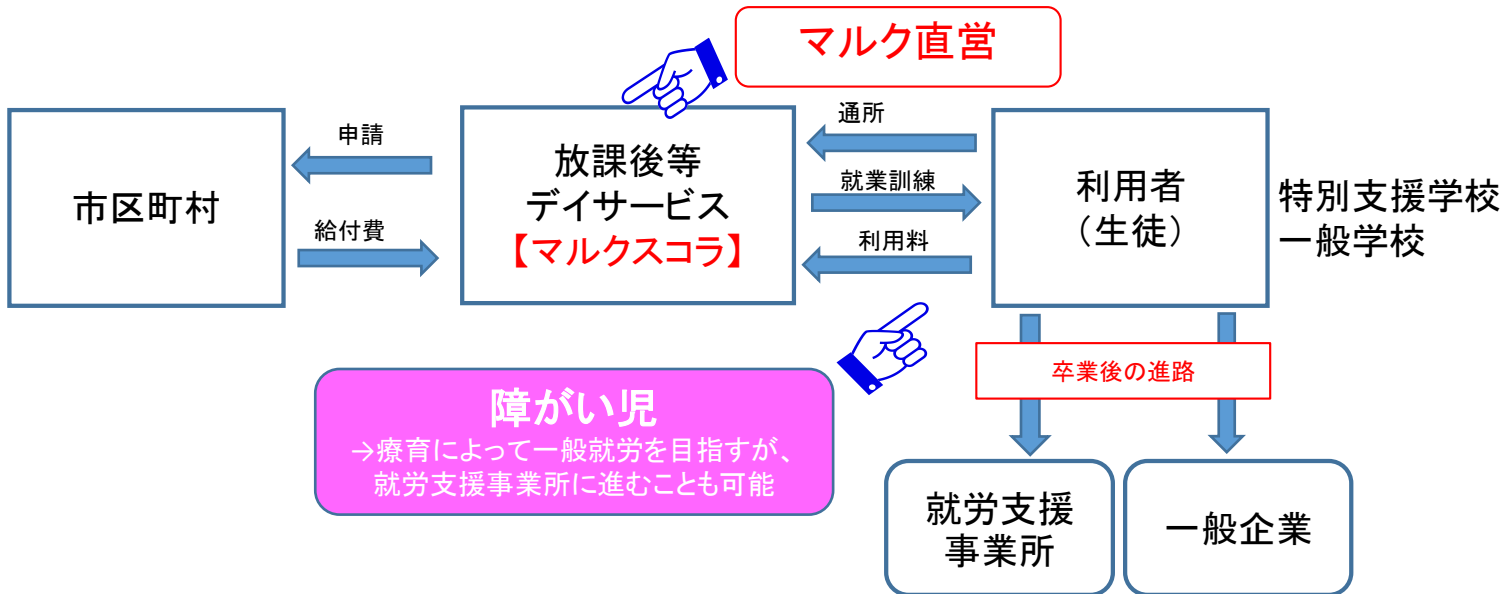
※出展:厚生労働省

今後、利用者ニーズに合致したサービスを提供できれば、利用者数が飛躍的に増加することが容易に推測できる。

4. 放課後等デイサービス -事業内容

マルクグループの就労支援ノウハウを活かし、現在サービスの提供が圧倒的に不足している中高校生の就職・自立準備支援を目的とした放課後等デイサービスを展開する。

事業モデル



利用者メリット

卒業前に自立にむけた療育(*)を受けられることができるので、社会に送り出しやすくなる。保護者にはより多くの卒業後の進路があることにより不安の解消に繋がる。

*ことばや身体機能など、発達に遅れのみられるお子さんについて、生活への不自由をなくすようにトレーニング・教育を行う事

4. 放課後等デイサービス -なぜマルクならできるのか

